

青年文化センター「ホール見学会」平成25年8月9日(金):Aコース(13:02から14:59) 実施内容

見学会のスタートです。Aコース司会役のワッキー貝山(Bコース司会役は、さとうこう)が見学会の内容を説明します。



まずはダンススクールフェイスによる、1回目のダンスステージです。



参加者は舞台上がり、舞台のしくみを学びます。

まずは舞台の照明のお話。舞台の周りにあるさまざまな照明について、お話を聞きました。

参加者のみなさんには、ステージの出演者のつもりになって、照明の効果を体感してもらいました。



照明バトンを降ろしてみると、いろいろな照明がびっしり吊られているのにびっくり！

目の前で、ひとつひとつの照明を実際に動かしながら、仕組みや効果の違いのお話を聞きました。



今回のダンスステージで使用しているスモークマシンの説明を聞きました。
スモークマシンから出る煙を扇風機で舞いあげると、照明の光の帯がクッキリ浮かびあがりました！
参加者のみなさんも、こんな舞台上で踊ってみたいなと思いながら見学しているようでした。



舞台下手袖に移動して、舞台の仕切や袖の目隠しに使用する袖幕を見学します。
袖幕を操作する綱元を動かしながら、どんな仕組みになっているのか、普段見れない場所のお話を聞きました。



舞台の次は、照明を操作する調光室の見学です。説明を聞きながら、舞台の照明をいろいろ動かすこともできました。



舞台へ戻り、「大迫り」体験を行います。同乗したスタッフが、事故の無いように見守ります。
「奈落」を見学して、舞台に戻ります。参加者のみなさんは出演者気分で大迫りポーズで再登場！パチパチ。



次のステージの準備をしているフェイバリットの楽屋も見学し、いろいろな質問で盛り上がりました。



舞台へ戻った後、参加者のみなさんは特別ダンス講座を受けました。先生のかげ声に合わせて一生懸命からだを動かします。約15分の講座の後、舞台の照明も浴びながら、参加者全員でおさらいダンスをしました。



ここで、今日の見学のおさらいとして、参加者の中から、舞台袖でスタッフ体験をする人を発表しました。今回は、フェイバリットの武藤さんへの質問や、次のダンスステージを紹介する司会役も、参加者が体験しました。



司会役の参加者の紹介から、ダンススクールフェイバリットによる2回目のダンスステージがはじまりました。



ダンスステージ終了後、参加者のみなさんに感想をうかがいました。「出演者やスタッフさんの緊張感が伝わってきた」「ステージが目の前にあって、ダンサーの表情もよく見えてドキドキした」「舞台上で踊っている人のオーラがヤバイ。ダンサーさんも照明もすごいと思った」など、いろんな感想ができました。

最後は、出演者全員舞台上に揃って、ホール見学会は終了です。お疲れ様でした。

